

11. 申告書等記入例

(1) 償却資産申告書の記入例

平成 31 年 1 月 10 日
 受付印 (宛先) 安曇野市長
 償却資産申告書 (償却資産課税台帳)

1 住所 (又は納税通知書送達先) ながのけんあづみのしよとな ぼんち 長野県安曇野市豊科6000番地 (71-2000)	2 個人番号又は法人番号 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2	8 短縮耐用年数の承認 有・無
1 氏名 (ふりがな) ゆうげん しんしゅう のうえん 有限会社 酒州あづみ農園 あづみの たろう 代表取締役 安曇野 太郎 (印)	4 事業種目 (資本金等の額) 農産物の生産と販売 (2 百万円)	9 増加償却の届出 有・無
2 法人にあってはその名称及び代表者の氏名 (屋号)	5 事業開始年月 この申告に申告する者の氏及び氏名 平成17年10月 経理課 安曇野裕子 (電話 71-2000 在番一歩 77-3111)	10 非課税該当資産 有・無
3 事業開始年月 この申告に申告する者の氏及び氏名 平成17年10月 経理課 安曇野裕子 (電話 71-2000 在番一歩 77-3111)	6 課税標準の特例 有・無	11 課税標準の特例 有・無
7 税理士等の氏名 (電話番号)	12 特別償却又は圧縮記帳 有・無	13 税務会計上の償却方法 定率法・定額法
15 市(区)町村内 豊科6000番地	14 青色申告 有・無	16 借用資産 (有)無 安曇野リース(株)
17 事業用家屋の所有区分 自己所有・借家	18 備考(添付書類等) 7 例1) 増減なし 例2) 平成30年6月30日廃業 例3) 平成30年5月9日住所変更 旧住所 豊科4932番地46 新住所 豊科6000番地	

資産の種類	8 平成30年1月1日現在の取得価額 (円)	9 平成30年1月2日から平成31年1月1日までに減少したものの取得価額 (円)	10 平成31年1月1日現在の取得価額 (円)	11 計 ((1)-(2)+(3)) (円)
1 構築物	16000000			16000000
2 機械及び装置	4500000			4500000
3 船舶	0			0
4 航空機	0			0
5 車両及び運搬具				
6 工具、器具及び備品	1425000	885000	420000	960000
7 合計	8475000	885000	420000	3010000

電算処理による申告をされる場合は、この太枠内についても必ずご記入ください。

- 住所・氏名があらかじめ印刷されて送付された方で、変更のある場合は赤字で訂正し、その旨を備考欄にご記入ください。
- マイナンバー記入欄です。右詰めでご記入ください。
- 申告内容の質問等に直接応答する担当者の氏名をご記入ください。
- 課税標準の特例を受ける場合は「有」を○で囲んでください。
また、特例の対象であることが確認できる書類を添付してください。
- 安曇野市内の資産所在地をご記入ください。
- 借用資産の有無と、有の場合の貸主の名称をご記入ください。
- 備考欄
例1) 資産の増減がない場合にはその旨をご記入ください。
例2) 解散・廃業・休業等の場合はその旨と年月日をご記入ください。
例3) 所有者の住所・氏名等に変更があった場合は、年月日と事由をご記入ください。
- 平成30年1月1日現在の資産の取得価額を種類別に合計し記入してください。
この金額が、前年度申告書の「取得価額の合計」の額と等しくなるように作成してください。
異なる場合は、修正申告していただく必要があります。
- 平成30年1月2日から平成31年1月1日までに減少した資産の取得価額を種類別に合計し記入してください。
- 平成30年1月2日から平成31年1月1日までに増加した資産の取得価額を種類別に合計し記入してください。
- 平成31年1月1日現在の資産の取得価額を種類別に合計し記入してください。

(2) 種類別明細書の記入例 【加除訂正には、赤ボールペンを使用してください】

種類別明細書 (一覧表)				※行政区	住所	※代表者	※ページ
1	2	3	4	399-8281	安曇野市豊科6000番地	法	所有者コード 1 枚のうしろ
5	6	7	8	有限会社 信州あづみ農園			000001234567 1 枚目

(資産の種類欄には、上記の区分番号を記入してください。)

行番号	増	減	修正	資産の種類 (1点Na)	資産の名称 <small>(標準・10点区分・10点区分・標準・数字で記入してください。3桁以内)</small>	取得年月			取得価額	耐用年数	減価償却率	5%	1月1日現在 評価額	5%	課税標準額	税額の特例	事由	摘要
						年	月	日										
01	1	2	3	5	りんご用棚 (金属性)	1	4	22	02	1600000	14	0.848	0	395327				10
02	1	2	3	2	歩行式耕うん機	1	4	26	10	450000	7	0.720	0	104001				申告漏れ
03	1	2	3	6	えのき用 コンテナ	100	4	24	02	640000	3	0.464	0	45000				2
04	1	2	3	6	複写機	1	4	24	05	270000	5	0.631	0	27007				1
05	1	2	3	6	複合機	1	4	30	2	420000	5							1

電算処理による申告をされる場合は
この太枠内についても必ずご記入ください。

①…該当する異動区分を○で囲んでください。

②…修正の場合

修正する部分に線を引き、その上に修正後の数値等をご記入ください。

③…減少の場合

減少した資産について、行全体に線を引いてください。

④…増加の場合

増加した資産について、資産の種類(5)・資産の名称・数量・取得年月(6)・取得価額(7)・耐用年数(8)をご記入ください。太枠内については、電算処理による申告を行う場合のみ、全て記入してください。

⑤…資産の種類

該当する種類について、数字で記入してください。

1：構築物 2：機械及び装置 3：船舶 4：航空機 5：車両及び運搬具 6：工具、器具及び備品

⑥…取得年月

該当する年号について、数字で記入してください。

1：明治 2：大正 3：昭和 4：平成

⑦…取得価額

税込経理方式…消費税額を含める

税抜経理方式…消費税額を含めない

※印刷済みの種類別明細書(一覧表)に表示されている課税標準額は平成31年度見込み額です。

⑧…耐用年数は、「減価償却資産の耐用年数に関する省令」に掲げる耐用年数です。確定申告や法人税等の申告における耐用年数と同じです。

⑨…事由

異動の事由について、以下から該当する数字を記入してください。

《増加》 1：新品取得 2：中古品取得 3：移動による受入れ 4：その他

《減少》 1：売却 2：滅失 3：移動 4：その他

⑩…摘要

(例) 申告漏れ…過年度申告すべき資産が漏れていた場合